

《年度末に向けて》①超勤上限規制・年休付与義務化など労使協議を ②会計年度任用職員の「制度内容案」について職場周知と労使協議を ③家庭と仕事・治療と仕事の両立支援など「より働きやすい職場」を



伊 予 市



新 居 浜 市



松 山 市



内 子 町



《統一要求提出》

【A市】1月から出勤簿へ出勤時刻を記載しているが、今のところ大きな混乱はない。時刻を記録することで、時間管理に対する職員の意識が変わり、仕事の効率化にもつながる。【B市】技術職確保が困難なため、来年度の採用試験は4月に実施を早めることを検討している。【C市】会計年度職員制度の議会提案時期は未定で9月議会までに考えている。【組合】年度内に「制度設計案」の提示を求める。意見交換をしたい。【D水道】職員採用は以前から

採用、時間管理、会計年度職員制度で労使協議を『単組要求書』同時提出し、年度末の改善を求める

2月5・6・7日県本部は東予・中予・南予地域で『県本部統一要求書』を「単組委員長連名」で提出しました。※以下「やりとり抜粋」（文責県本部）

【E市】人材確保については頭を悩ませている。採用試験の時期なども検討していく。今年度退職者数と同数の新規採用を確保できなかった。応募人数も減っている。【F市】会計年度職員の制度内容は組合とも協議中。財政課とも話を合わせる必要がある。【G市】ハラスメント研修は労働局から講師を招いて実施。自前研修もしている。【H町】新規採用の努力をしていきたい。介護職として採用するには免許が必要だが、地元高校生で就職し働きながら免許を取ってもらうようなことも考えている。【I市】会計年度職員は9月議会提案予定。職の洗い出しが終わり、新たな職

に於てはめており、まとまりつつある段階。年度内に組合に案を提示し協議する。【組合】超勤時間の上限規制など『36協定』改定協議を。定年引き上げは情報交換を。【J市】人員配置は従来の削減方向から前年度に現状適正維持する方向に変えた。20年ほど採用なしだった保育士を採用する。公務員の給与面が相対的に悪くなり、良い人材、特に技術職員が確保できない。【K施設】時間管理は力を入れてとり

は4月更新。夜勤回数は減らしていきたいが、人員的には厳しい。職場的には定年延長された方が人員確保しやすいかもしれない。【L社協】年休5日以上取得義務は、職場で周知しており計画的に取るようにしたい。

保育職場の人員不足は認識している。【M町】消費税増税など国からの通達で自治体業務が増え、おり、本当はもっと採用も増やしたい思いもある。時間外勤務も増え、代休取得できていない人も多く。【N市】会計年度職員の

制度設計は業務委託している。技術職確保が困難な状況。退職者は医療職が多い。ほとんどの職員が再任用を希望し対応している。時間管理はICカードで行い、実態との乖離については確認を進めていく。

制度設計は業務委託している。技術職確保が困難な状況。退職者は医療職が多い。ほとんどの職員が再任用を希望し対応している。時間管理はICカードで行い、実態との乖離については確認を進めていく。

制度設計は業務委託している。技術職確保が困難な状況。退職者は医療職が多い。ほとんどの職員が再任用を希望し対応している。時間管理はICカードで行い、実態との乖離については確認を進めていく。

制度設計は業務委託している。技術職確保が困難な状況。退職者は医療職が多い。ほとんどの職員が再任用を希望し対応している。時間管理はICカードで行い、実態との乖離については確認を進めていく。

制度設計は業務委託している。技術職確保が困難な状況。退職者は医療職が多い。ほとんどの職員が再任用を希望し対応している。時間管理はICカードで行い、実態との乖離については確認を進めていく。



宇 和 島 病 院



久 万 高 原 町



東 温 市



《自治労連中央委員会》

①労働時間管理、会計年度任用職員、人員確保など要求前進と組織拡大を

1月24・25日、横浜市の自治労連中央委員会に全国257人（愛媛8）が参加。春闘・夏季闘争までの要求活動、新採加入はじめ組織強化拡大、選挙で「政治を変え、職場とくらしを変える」活動方針が提案され討議。愛媛県本部代表で廣瀬文美さん（今治市職）が、①労働時間管理での要求、②会計年度職員制度での

労働時間管理、会計年度任用職員、人員確保など要求前進と組織拡大を



その後、松繁副委員長らは四国地方整備局・大洲河川国道事務所を訪問。応対した山内維持修係長と約1時間懇談。山内係長は7月豪雨災害発生前後の河川変化状況や対応などについて「河川などに設置の監視カメラからの情報は大型モニターに映して変化を捉えていた。同時進行で本省とも



テレビ会議で対策を議論していた」と当時の様子を説明。さらに「この事務所規模から相当の職員がいると思われるが、配置職員の約半数は民間からの出向、出先機関では民間企業からの職員比率はさらに高く、緊急時に現場で動ける職員は限られている」と職場の課題なども話されました。

【西予】自治労連・研究機構「市長インタビュー」
1月21日、自治労連本部の松繁副委員長らが管家・西予市長を訪問し、市長は「7月豪雨は24時間雨量が347ミリに達するほどの大雨。放流情報と避難のあり方については委員会を立ち上げ、検証を行っている。ダム

も中止しなかった大会が豪雨で乙亥会館が使えず開催が危ぶまれたが、地元の奮闘で復興シンボルとして開催できたのは励みだ」と語りました（インタビュー内容は『自治と分権』自治労連・地方自治問題研究機構発行に掲載されます）。



【四国中央】 3回目の会計年度職員学習会 アンケート実施し『要求書』作成へ

四国中央市職労は1月17日、保育部会が中心となって3回目の「会計年度任用職員制度の学習会」を開催し、臨時保育士・非正規事務職職員ら10人と組合役員5人が参加。学習会では、県本部の石井拡大推進員が「会計年度任用職員制度のポイント」を説明し、質問や要望を出しあい、『要求案』について意見交換。参加



【内子社協】 職場を越えて交流 「みんなで働きやすい職場を」

内子社協労組（ココロユニオン）は12月28日「忘年会」を開催し、組合員29人が参加。くじ引きで席順を決めたので、普段顔をあわすことのない他園の先生たちとも話ができ、交流を深めました。「ピング大会」では



【現業評】 現場の声「正規調理員採用」 「学校給食充実」など届けました

県本部現業評議会は12月27日、県教育委員会「学校給食担当課要請」を実施し5単組9人が参加。『教育の一環として安全で豊かな学校給食の充実を求める要請書』を提出し、県教委は保健体育課2人が対応しました。地産地消の推進、給食費

負担の軽減、給食の実施回数、熱中症予防対策など職場環境・業務の改善、栄養士の配置、正規調理員の採用などを要請。現場の声として「正規調理員のいない調理場をつくらないことを現場は強く望んでいる」などを伝え、県教委から「調理員採用は市町の判断だが、技術継承やアレルギー対策などリーダーとなる正規配置が必要と思う」などの回答もありました。



【西 条】 「保育者の専門性・実践」学び 「保育者を見つめ直す機会に」

西条市職労保育部は1月16日「研修会」を開催し、公立保育所・幼稚園の正規・非正規あわせて87人が参加。東雲短期大学より5人の講師を招いて「保育指針決定による保育者の専門性や今後の保育実践」について学びました。講師から「なぜ散歩をするのか？その際



【今 治】 会計年度任用職員制度知らせ 今「職場の声」を『部会要求書』へ

今治市職労保育部会は1月16・17日、保育所での「懇談会」を行いました。参加者から「人員不足が深刻化。保育士を確保するために、非正規保育士がずっと働き続けられるように育休や通勤手当、経験加算をつけるなど処遇改善してほしい」「非



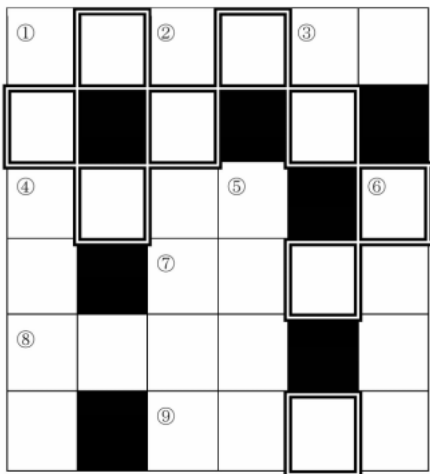
【西 予】 青年部「賃金学習＆新年会」 経験活かし復興へ決意新たに

西予市職労青年部は1月18日「宇治屋と新年会」を開催し28人が参加。和気委員長を講師に「西予市職員の給与制度」を学習。県進捗による給料表の改定で松山市に次ぐ初任給の改善には「驚きの声」がありました。ここ数年で組合の要求活動で改善された点を説明し、「以前のように災害対応

の声が出されました。これらの声は『保育部会要求書』にまとめ、1月29日に提出しました。

おたより ありがとう

■2017年の暮れにインフルエンザにかかってしまい、年末年始6日間ずっと寝ていました。教訓を生かして、今シーズンこそは予防接種をしようと思っていたのに…すでに1月末。来シーズンこそはする！絶対。
（今治・白石）
■年末年始は一日中台所で立ちっぱなしでしたが、子どもたちと孫と楽しい時間を過ごせました。母はまだまだがんばります。
（西予・竹森）
■平成最後の年が明け、5月には新元号になり、また一つの時代が終わった気がします。昭和の人はもう過去の人なのでしょうか？
（西予・田中）
■3年連続で孫のお雛様を買いました！お店の方は「幸せなことですね」とすばらしく喜んでくださったのですが、こちらはもう3回目となるので、全てお分かりいただきたく思います。
（西予・井上）



出題者 堀川孝行

【ヨコのカギ】

- ①自動車など、新しい年次に開発・販売された型式。〇〇〇〇〇〇⇔低年式
 - ④「雖も」の読み方は？
 - ⑦児童書「〇〇〇〇ないきもの事典」
 - ⑧外出用の衣服や持ち物。〇〇〇〇に着替える
 - ⑨土木建築用の栗の実ぐらいの小石。ぐり
- ### 【タテのカギ】
- ①（選挙）〇〇〇〇〇〇⇔浮動票
 - ②粘土で作ったいろいろな物
 - ③〇〇うゆ、こ〇〇う、〇〇うが
 - ⑤きまりきって新しみが無い。〇〇〇〇型のあいさつ
 - ⑥料金をとって物を貸す。〇〇〇〇⇔賃借り

マス目を埋め、二重枠の9文字で、公務員制度に関わることにして下さい。

■503号のバズルの答えは「アンドウモモフク」（安藤百福）でした。正解は9通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。（敬称略）

友近 寅男（松山）
菊池奈緒子（西予）
井上 裕也（西予）
小林 弘樹（津島吉田）
竹森 千晶（西予）

【応募方法】パズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。

【送り先】自治労連愛媛県本部パズル係 〒790-0003 松山市三番町8丁目10-2（FAX、メールも可）1面題字下に記載
【締切り】3月27日【発表】507号（4月号）

時間を過ごせました。母はまだまだがんばります。
（西予・竹森）
■平成最後の年が明け、5月には新元号になり、また一つの時代が終わった気がします。昭和の人はもう過去の人なのでしょうか？
（西予・田中）
■勤め先が違いますが、同級生が定年近くになって転職した。話を聞くが、特に誘いがあつた訳ではなく、子どもも独立したので、何かを変えたかったと言っているのである。うらやましい限りである。
（四国中央・笹本）
■いつも楽しく拝見させてもらっています。
（西予・井上）